

退屈・孤独・悲嘆

を理解し、寄り添う、又は自分で対処するにはどうしたらよいでしょう、について意見を交換します。

懇談会

門前仲町がん哲学外来カフェのお知らせ

日時： 2017年12月10日(日)午後 1時半 ~ 4時半

入場無料 途中の退席、ご自由です

門前仲町がん哲学外来カフェは、がんの罹患者、家族、支援者（医療関係者を含む）が集まり、関係者の生活の質の向上を図る懇親会です。同時に、折々の健康と命に関係する話題を取り上げ、意見の交換を行います。今回もこのテーマに関する専門家の臨席は予定されていませんが、参加者で意見を交換し、身内、親戚、友人について支援できること、又は自分自身の自衛の策を考えたいと思います。がんに関係ない方でも主題にご興味のある方ご参加下さい。

今回のテーマ

■「医学の対象は、見方によっては狭い。医学の専門家は患者の魂の支えではなく、健康を回復することに意識を集中する。一方、患者は人生の黄昏をどう過ごすべきか、という心の問題についても、病院へ行ったら、又は、施設へ入ったら癒してしてくれるのではないかと期待する。しかし、それは残念ながらほとんどの場合、無理だ。問題はその心のことについて考えたり、話し合いを始めるのが余りにも遅いことだ。」

（米国の外科医、ガワンデ氏の言葉から）

…では私達はこれからどうしたら良いでしょうか。

参加お申込み

参加ご希望の方は下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

E-mail gannetwork@freeml.com

ファックス: 03-3642-5629



福島県棚倉町のHPより

[会場のご案内]

深川スポーツセンター 研修室

住所：東京都江東区越中島一丁目 3番

最寄駅： JR京葉線・越中島駅

地下鉄東西線・門前仲町駅

地下鉄有楽町線・月島駅

主催： 門前仲町がん哲学外来カフェ

協賛： 一般社団法人 がん哲学外来

提供：がん共存者ネットワーク連絡会・門前仲町がん哲学外来カフェ・
樋野先生の書簡を読む会

責任者：東京都江東区越中島ルネ門前仲町 神藤 吉彦 E-mail: y-shindo@mvh.biglobe.ne.jp